
IS インフィニット・ストラトス ~ 奇跡の力 ~

重音悠樹

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

IS インフィニット・ストラトス ～奇跡の力～

【Nコード】

N7978Y

【作者名】

重音悠樹

【あらすじ】

一夏と箒には、もう1人の幼馴染がいた。6年後にIS学園で再開した3人は、どうなっていくのか……
物語の、始まりは1巻が終わるクラス代表戦の少し手前からです。一応原作はありますが宛にならないと考えて下さい。それでも良いという海より広くマリアナ海溝より深い心の持ち主の方は、生暖かい目で見守って下さい。

1話

ゝ6年前ゝ

「本当に行ってしまうのか？」
箒が聞く。

「うん。両親の都合だから、しょうがないよ」

「絶対に帰ってくるんだよね？」
一夏が念を押すように聞いてくる。

「うん。約束するよ。絶対に、高校生になったら帰ってくる
と」

「それじゃあ、元気でね」

「帰ってきたら、剣道で勝負だ！勝ち逃げは許さんぞー！」

「うん。次も、負けないけどね」

「ああ」

「一夏の事を絶対に彼氏にしておくんだよ（ボソッ）」

「なっ／＼／」
慌ててるよ。初^{うぶ}だね、箒は・・・

「じゃあね。千冬さん、東さんお世話になりました」

「ああ、私も次は負けないぞ」

「ゆっくんも、元気でね」

「はい。本当にありがとうございました」

『じゃあ。またいつか』

「はい!!--」

「悠樹！」

「どうしたの、篤？」

「お前は、勘違いをしているのでな・・・」

「何を？」

「わ、私は一夏ではなくお前が好きなんだ！！」

「え？」

コノヒトハナニヲイツテラツシャルノデセウカ・・・

「え？ではない！一夏ではなくお前を見ていたんだ！！」

「ああ。でも悪いが保留で良いか？」

「っ！？」

「いや大丈夫だから。ただ、まだお前と釣り合う自身が無いから次に会ったときに返事をするよ」

「ああ！約束だぞ！」

「うん！」

「ふぁゝ。よく寝た」

久しぶりだな6年前の夢を見るなんて…………でも

「今日から、学校か…………まあ転入扱いだから楽かなあいつも居るし」

俺が行く学校は特殊なんだ

「まさか、IS学園に行くことになるなんて」

そう、俺はISを使える事が分かったので2人目の男の操縦者として扱われるようになった。1人目は俺の親友の1人である織斑一夏だ。

「さてと、急ぐか……」

あの人を待たせたらいけないからな

＼ISS学園前＼

「何とか、ついたか」

「久しぶりだな。小鳥遊」

「はい。お久しぶりです。千冬さん……………いや織斑先生ですかね？」

「それで良い。では、行くぞ」

「はい。ところで、あいつは？」

「同じクラスだ。1年1組だから気をつける」

「はい」

「後、篠ノ之も居るぞ」

「箒も居るんですか!？」

「ああ。驚いている割には、嬉しそうだが？」

「どんだけ、綺麗になったか気になるし、一夏はどこまで格好良くなったか気になるんでね」

「なるほどな。お前らしい」

「では、私が呼んだら入ってこい」

「はい」

ガラガラガラガラ

「HRを始める、その前に今日は転入生がいる。入って来てくれ」

ガラガラガラガラ

「失礼します」

「今日から、このクラスに入る。小鳥遊だ。皆に一言頼む」

「えーと。紹介のあった通り、小鳥遊悠樹です。趣味は、剣道と体力作りです。これから、よろしくお願いします」

一夏に関しては、空いた口が塞がってないぞ。箒も、啞然としている。そりゃそうだろうな、いきなり6年前の幼馴染がくれば俺でも驚くから。

「念を押すが、騒ぐなよ」

どう言うことだ？ ってあからさまに残念な顔なのは、どうしてなんだ！？

「小鳥遊の席は、篠ノ之さんの後ろです」

「はい」

俺は、通り過ぎる際に

「これから、よろしく（ボソッ）」
箒に声をかけておいた。

「っ！？／＼／」

んな、顔を赤くしなくても……

「では、これでHRを終わる」

続く

1 話（後書き）

感想まっています

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7978y/>

IS インフィニット・ストラトス ～奇跡の力～

2011年11月23日19時54分発行